



早島小だより

11月号
令和2年10月30日

めざす子どもの姿 「は」判断する子 「や」やり抜く子 「し」正直な子 「ま」学び合う子

来週から11月（霜月）に入ります。朝夕は徐々に寒くなってまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、先週2日水曜日のオープンスクールには、日程を調整してご来校いただきありがとうございました。今回は、スポーツフェスティバルも同時開催いたしました。例年とは違う形での実施ではありましたが、子どもたちの頑張りや成長を見ていただけるよい機会となったのではないかと思います。各学年リレーと表現運動の2種目でしたが、子どもたちが最後まで真剣に演技等している姿は、とても美しかったです。保護者の皆様、子どもたちへの温かいご声援大変ありがとうございました。

各学年の表現運動



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

菊池省三先生来校



「褒め言葉のシャワー」で有名な、菊池省三先生が、早島町学級づくり研修会の一環で、10月6日（火）に来校されました。4校時は6年4組の社会科の授業、5校時は3年3組の道徳科の授業を見ていただき、6校時には、3年2組の教室で菊池先生自ら師範授業される様子を、本校教員や幼稚園・中学校の教員が参観しました。放課後は、教員の研修を行い、菊池先生から、子どもたちを褒めて伸ばすこと、また、全員参加の授業を成立させるための指導法などについてのお話を聞きました。これからの教科指導等に活かしていきたいと思っております。

読書のすすめ

本はいつでも好きな時に手に取って読むことができ、読むたびに違った面白さを与えてくれます。本の内容を理解することを通して、想像力や語学力が身につきます。

11月9日（月）から20日（金）まで、本校では秋の読書週間になります。学校には、「本の森」（図書室）があります。様々な種類の本が置いてある「本の森」は本の宝庫です。どの種類を選ぶかは自由です。「本の森」をよく利用していると、自然と読む習慣ができてきます。そうすると、自然と本と友達になることなのでしょう。本はお子様の心を豊かにしてくれます。時間をみつけて、しっかり本を読んでほしいと思います。子どもたちに読書を勧めると同時に、我々大人も図書に親しみ、読書の習慣を身につけることが大切だと思います。

